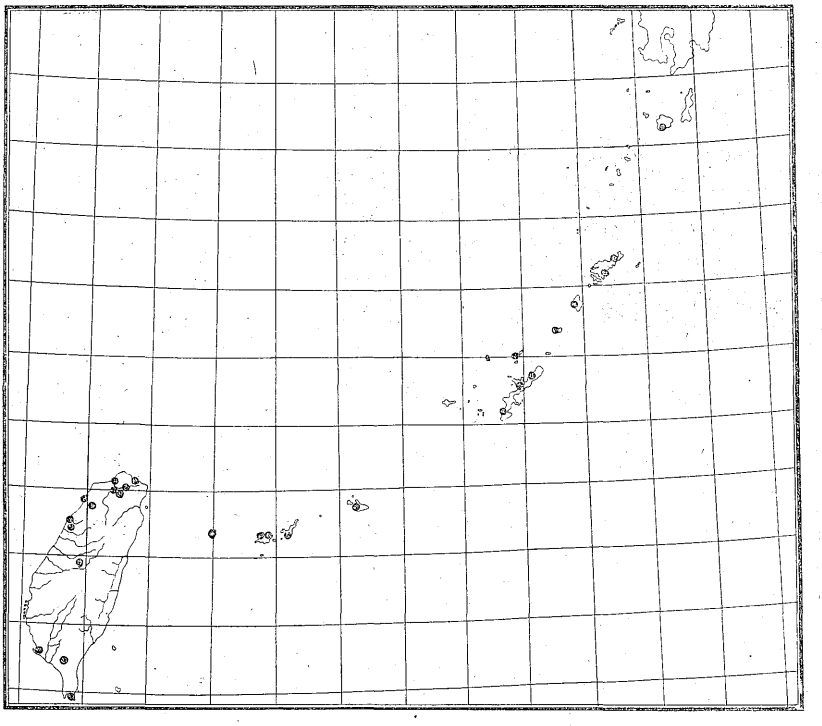
○かきばかんこのき（*Glochidion hongkongense* M.-A.）ノ呼吸根及ソノ地理分布（正宗嚴敬）

本種ガ自然ニ生育シテ居ル所ハ主トシテ濕地デ、一見シタ所乾燥シタヤウニ見エル地ニ生育シテ居ル事モアルガ、ソコノ地下ヲ調ベテ見ルト案外地下水ガ高イ事ガ多イ。コノ様子ハせいやうぬまがや屬（*Molinia*）ノ物ガ水濕地ニ多ク又地下水面ノ高イ所ニ生ジテソレヲ指示スルノニヨク似テ居リ、一種ノ水ノ指示植物ト見ル事ガ出來ル。當然ノ結果トシテ本種ハ水邊ニ多ク池沼ノ周圍、水田ノ畔等ニ生育シテ居リ、特殊ナ例トシテハ浮島上ニサエ生ジテ居ルノヲ見タ（此ハ、臺灣、中部ニアル日月潭ノ浮島デシバシバ實見シタ、コノ浮島上ニ生ズルアル物ハ高サ1m以上ニ達スル）。此様ニ水濕ノ所ニ生ズルモノデアルカラシタガッテ、本種ノ地理的分布範圍（地圖參照）ニ於テハ此等水濕地ノ常綠濶木群系ノ一

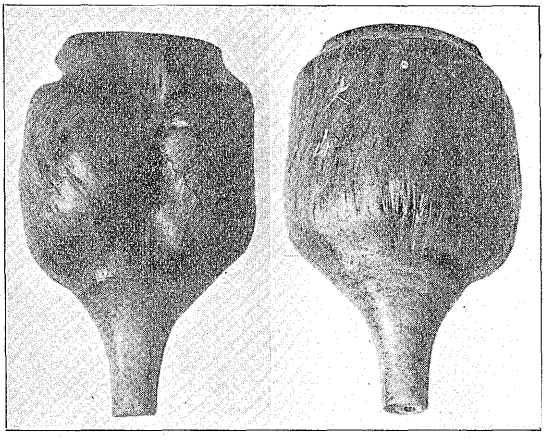


ッノ代表的ノ群落ヲ構成スル濶木ノ一種トナッテ居ル、本種ト殆ド同ジ外國ノ下ニ生ズル物ニたいわんあかめやなぎ（*Salix Warburgii*）ガアルガ、此ハ落葉スル點デソノ生活型ガ異テ居ルガ、臺灣ニ於テハ殆ド同様ノ環境ノ下ニ生育シテ居リシバシバ混生シテ居ルガ唯異ル點ハたいわんあかめやなぎノ方ガソノ地理的分布範圍ガ狹イ事デアル、此ハ何カ落葉性デアルト言フ生活型ト關係ガアル物デハナイカト考ヘル。

此所ニかきばかんこのきノ日本領内ニ於ケル分布ヲ地圖デ示スト圖ノ樣デアリ、屋久島ヲ北限トシテソレ以南ニ廣ク分布シテ居ル、次ニ本種ノ水濕地ニ生育シテ居ル事ニ關シテ特ニ注意スベキ事ハ、本種ガ所謂ル呼吸根ヲ持テ居ル事デ此ノ事實ハ本種ガ前述ノ如ク濕地ニ生育スル事ト生活型トガヨク一致シテ居ル。本樹ノ呼吸根ハ大ナ物ニ於テモ小指位ノ太サデ、普通ノ根カラ珊瑚狀ニ多數出テ居リ、多孔質デアル、此所ニ今一ツ注意ニアタイスル事ハコノ呼吸根ト起源ヲ同ジクスルト考ヘラレル、多孔質ノ柔弱ナ長イ根ヲシバシバ多數本種ガ水中ニ出シテ居ル事デアル。

○松ノ“木瘻”ヲ利用シタ「パイプ」（平塚直秀）

筆者ハ數年前、8月中旬ノ數日間ヲ寄生菌類ノ採集調査ノ目的デ、國立公園伯耆大山中腹ノ大山寺ニ滯在シタ事ガアツタ。ソノ折、トアル土產物店ノ店先デ寫眞ニ示ス樣ナ代物ヲ澤山見出シタノデ、1個ヲ買求メタ。松ノ“木瘻”卽チ“松ノ瘤”ヲ利用シテ作ツタ「パイプ」デアツテ、「グロ」デモアリ、一寸ト實用ニハ供シ兼ネルモノデアルガ、珍奇ニ感ジタノデ御紹介スル次第デアル。然シ大山寺ノ土產物トシテ發賣シテ居ルコノ「パイプ」モ所謂“土產”デハナク、ソノ生レ故郷ハ遠ク關東地方デアルラシク、他地方デモコノ種ノ「パイプ」ガ土產物店ノ店頭ニ飾ラレテ居ルトコロガ澤山アルコトト思ハレル。



因ニ、コノ“松ノ瘤”ハ銹菌ノ1種、*Cronartium Quercuum* MIYABE ノ銹胞子時代ノ寄生ニ因ツテ出來タモノデアル。